

第16回ピッチイベントの施設管理者ニーズ

テーマ No. 1 : 路面性状調査	
求める技術と理由	条件等
<p>[No.1-1] 路面性状調査</p> <p>【理由】</p> <p>市内道路の平常パトロール時に付加価値ができるよう、市内巡回に併せて車載式で路面性状データを取得、データ蓄積、解析できるような仕組みをつくりたい。</p>	<p>◇舗装長寿命化修繕計画に反映できるような技術</p> <p>◇極力費用が安価な技術</p>
<p>[No.1-2] 路面性状調査</p> <p>【理由】</p> <p>市内で実施継続中である道路モニタリング事業で取得、蓄積したIRI値等のデータを活用できるシステムを構築したい。</p>	<p>◇舗装長寿命化修繕計画に反映できるようなシステム</p> <p>◇共同で研究ができる体制</p> <p>◇極力費用が安価な技術</p>
<p>[No.1-3] 舗装のわだち量(深さ)を自動で把握する技術</p> <p>【理由】</p> <p>舗装のひび割れなどは車載探査機等で把握できるがわだち量は把握できず、パトロール者が降車し人力で計測する必要がある。</p>	<p>◇パトロール車の車載カメラ等でわだち深さ等を把握できること</p>

テーマ No. 2 : 公園の遊具・四阿の画一的な点検技術の確立及び点検の省力化

【理由】

有資格者が少なく、また人力による点検であるため労力がかかる。

【条件等】

- ◇極力費用が安価な技術
- ◇設置後、点検から補修・更新まで一連で管理するアプリ等

テーマ No. 3 : 上水道の地中可視化技術

【理由】

管路情報を記した完成図が不十分な場合に管路の埋設位置を把握することができない。

【条件等】

- ◇試掘調査と比較して短期間、安価で調査が可能であること

テーマ No. 4 : 緊急時に樹木医等の専門的な判断を仰ぐことなく職員点検等で
樹木の状態(幹の空洞化等)を簡易に把握し樹木の伐採判断する技術

【理由】

公園の樹木の幹が空洞化するなどして倒木や落枝等が発生することがある。樹木の状態を簡易的に把握する方法がない。

【条件等】

◇緊急時に樹木医等の専門的な判断を仰ぐことなく、ポータブル機器等で職員点検等で樹木の状態を把握したい

テーマ No. 5 : 道路路肩の除草、街路樹や民地等からの樹木が道路の建築限界を侵している箇所を
道路パトロール車に搭載したカメラ画像等を活用するなどして迅速に認識・把握する技術

【理由】

日常の目視パトロールでは道路の建築限界を侵している樹木等を見落とすこともあり、通行車両に接触するなどのトラブルが発生することがある。

【条件等】

◇パトロール車の車載カメラ等で樹木等が建築限界をどの程度侵しているかを把握できること